

令和元年 5 月 15 日

各 位

会社名 株式会社ウェッジホールディングス
 代表者名 代表取締役社長兼 CEO 此下 竜矢
 (コード 2388 東証 J A S D A Q 市場)
 問合せ先 開示担当 小竹 康博
 (TEL 03 - 6225 - 2207)

令和元年 9 月期第 2 四半期累計期間連結業績の前年同期実績からの差異
 に関するお知らせ

当社は、連結業績予想を開示しておりませんが、令和元年 9 月期第 2 四半期累計期間（平成 30 年 10 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日）の業績が、前年同期の実績値に比較して重要な差異を生じることとなりましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 令和元年 9 月期 第 2 四半期連結累計期間業績と前年同期実績との差異

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する四半 期純利益	1 株当たり 四半期純利 益
前年同期実績(A) (平成 30 年 9 月 期第 2 四半期)	4,943 百万円	840 百万円	770 百万円	46 百万円	1.30 円
今回発表業績(B) (令和元年 9 月 期第 2 四半期)	4,941 百万円	288 百万円	193 百万円	△275 百万円	△7.70 円
増減額(B-A)	△2 百万円	△552 百万円	△577 百万円	△321 百万円	—
増減率 (%)	△0.0%	△65.7%	△74.9%	—%	—

2. 差異の理由

売上高につきましては、ほぼ前年同期実績と同額の 4,941 百万円（対前年同期実績 0.0%減少）となっております。

営業利益につきましては Digital Finance 事業において不良債権の早期処理を進めた結果貸倒引当金の繰入額が増加したこと等から、販売費及び一般管理費が 373 百万円増加（対前年同期実績 11.1%増加）したことに伴い、552 百万円減少し 288 百万円（対前年同期実績 65.7%減少）しました。

経常利益は上記の要因により 577 百万円減少し 193 百万円（対前年同期実績 74.9%減少）となっております。

親会社株主に帰属する四半期純利益については、上記の要因により、321 百万円減少し△275 百万円となっております。

以 上